



飛騨っ子

令和3年8月27日 発行 NO6
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111（内線235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



わが子と一緒に

1 高山市立栃尾小学校 体験活動参加型 命(自然)の大切さ



- 期 日 令和3年7月29日(木)
- 対 象 低学年児童と保護者(全32名)
- テーマ 上高地散策!(PTA親子活動)

親子で地元の自然に触れる家庭教育学級は素晴らしい!
親子共々、自然の中に身をおけばストレスも和らぎます。風やせせらぎの音、セミや鳥の鳴き声。青い空と緑の木々。ガイドさんの説明が心地よく伝わってきます。まさしく‘清流の国ぎふ’真っ只中にある家庭教育学級です。昨年度はコロナ禍により実施を見送りましたが、今年度は十分に対策を考慮した上で実施しました。一行は、平湯バスターミナルから専用のバスに乗り現地に向かいました。1年生は大正池へ、また2年生は明神池へ行き、自然観察をしたり昼食をとったりしました。自然の中には、何度行っても新しい発見があります。地域の魅力を大切にしたい家庭教育学級が、継続されていることが素晴らしい!

<保護者の感想>

- ・私は、この歳で恥ずかしながら初めて上高地へ行きました。近いと思っていると、なかなか行くことができませんでした。飛騨山脈を隔て隣どうしですが、美しい川や魚、動物たちを近くに見ることができ、整備された木道、お洒落なホテルやお店に奥飛騨とは違ったよさも感じました。子どもはどう感じたのかを聞いてみたいです。(他市からお嫁に来たお母さん)
- ・夏は旅館が忙しいので、親子で出かける楽しみは唯一親子活動です。子どももそれは分かってくれているようで、上高地へ行けるのを楽しみにしていました。お友達みんなで行けてよかったです。(旅館業に励むお母さん)

2 高山市国府児童館(高山市社会福祉協議会) 体験活動参加型 家族の大切さ



- 期 日 令和3年8月12日(木)
- 対 象 親子(限定5組)
- テーマ 世界に一つだけしかないしぼり染めをつくろう!

「適当にやった方が味がでるんやよ。」と、言われながらも出来上がりをいろいろと想像する時間が楽しいです。昨年度つくられた見本のTシャツはとても可愛い仕上がりです。それぞれに好きな色の顔料を選び、わが子のTシャツや手提げカバンの染め上がりを想像します。しぼり染めの模様を工夫するには、対象物にビー玉

を挟み込む、部分を輪ゴムでとじる、幾重にもたたんだりぐしゃぐしゃにして紐で縛るなどなど、様々な方法があるようです。「○○なふうになると、どうなるかな？」職員の方や参加者同士のコミュニケーションが進みます。「わずかな時間でも、子育てから離れて夢中になる時間をつくってあげたい」・・・コロナ禍、参加者を限定してでも開催するには、主催者の願いがあります。

顔料を溶いた水溶液に浸すこと約20分。今度は、水洗いを何度も繰り返して、顔料を落としていきます。思わず「鮮やかな色～」「いいね～」・・・お互いの出来上がりが気になります。作品は、それぞれが帰宅し乾燥させ完成となります。

「Tシャツを広げてみる瞬間がドキドキなんです！」職員の方も参加者の皆さんと同じようにワクワクしています。青空の下、広げた作品に親子の笑顔が広がったことは間違いありません。



3. 企業内家庭教育研修 (NPO 法人 サン・はぎわら) 在宅取組型 家族の大切さ



《豚肉とキャベツの味噌ポン酢炒め》

ぽん酢等の酸味には塩味を強く感じられる特徴があるため、減塩でも美味しい料理になります。

*【在宅取組型】研修の流れは・・・

- ① はじめに(約30分)
- ② 在宅取組期間(約1か月)
- ③ まとめ(約30分)

*親子料理のポイントは・・・

- ① 自己肯定感を高める声かけ
- ② 非認知能力を褒める声かけ
- ③ わが子の変化に気付く自分の変化に気付く幸せ

- 期 日 令和3年8月5日(木)
- 対 象 保育園関係職員10名
- ねらい 仕事中心となりがちな生活の中で、わが子育てを見つめる機会をつくることを通し、家庭教育の大切さ・楽しさを再認識するとともに、ワークライフバランス思考を高める。
- テーマ 親子で！家族のために！減塩レシピに挑戦
～コロナに負けるな 食の大切さ～

この日は、10名の方々が熱心に研修(①はじめに)を受講してくださいました。自らワーク・ライフ・バランスをとることはなかなか難しいことです。ともに実践し学ぶ仲間が存在が、個々の取組や職場をより活性させることにつながります。担当者曰く「なんだか面倒くさそう・・・と思ってしまいがちですが、きっと新しい発見があるのではないかと思います。私も家族のため孫と一緒にやってみようと思います。」と。栄養士さんから提案されたレシピを手にとり、少し考えたり少し文字に表したりする時間の中に、いつもなら見逃してしまいがちな子育てや家族への気づきや発見を大切にしてほしいと思います。



希望のひまわり開花! 東日本大震災により被災した矢本東小学校の栽培委員会の児童が名付けた「希望のひまわり」が10回目の開花を果たしました。昨年は、長雨で大きくならなかったのですが、今年は夏の日差しをたっぷり浴びてこんなにも大きく成長しました! (下呂市役所 職員)